

市民国際プラザ・ダイジェスト

第20号(2011年1月18日発行)

今求められる自治体とNGOのパートナーシップのあり方とは？ 連続勉強会 第3回(1/13)を開催しました！

市民国際プラザでは今年度から、自治体とNGOの連携をテーマとした連続勉強会を開催しています。本勉強会では、普段会うことの少ない、NGO関係者と自治体関係者が出会い、意見交換をし、双方にとってメリットのある自治体とNGOの連携のかたちを探っています。

3回目の勉強会のテーマは、「地域そして日本の活性化のために、NGO・地域国際化協会・自治体ができること」で、当日は26名(自治体9名、地域国際化協会2名、NGO9名、その他6名)の参加がありました。

アドバイザーの毛受氏は、地域で国際協力活動を活発にするためには、地域住民が気軽に集い、情報を得られるようなカフェのようなスペースをつくる必要があるという、提案をされました。また、ディスカッションでは、地域に根付いた活動を進めるためには、国際協力というテーマに限らず、地域に住む人々が関心をもつようなテーマや仕掛けをつくり、まずは人と人が繋がる場をつくる必要があるという意見も出されました。



(1/17~28)企画展「国際結婚からみる多文化共生」開催中です！

市民国際プラザでは年2回、企画展を実施しています。今回のテーマは「国際結婚からみる多文化共生」。国際結婚の歴史や現状、国際結婚をして日本に住む外国人が抱えている問題、また自治体やNPO等が行っている外国人支援活動等についてご紹介します。

また1/19には、ふじみの国際交流センターの石井ナナエ氏を講師に迎え、特別企画として講演会「国際結婚から考える外国人支援のあり方」を開催します。

講演会「国際結婚から考える外国人支援のあり方」(1/19)

最近、日本でも年々増えている国際結婚。現在では、日本で結婚する約20組に1組が国際結婚、うち約8割は日本人夫と外国人妻の結婚です。国際結婚を機に日本に住む外国人の数も増え、地域において日本人と外国人と一緒に暮らす機会はさらに増加しています。しかし、中には国際結婚をして言葉や暴力・国籍等に関わる問題を抱えている外国人がいるのも現実です。

今回は、夫婦間トラブル等を含む生活相談、シェルターの提供、DV被害者支援講習会など、在住外国人支援の活動を行っているふじみの国際交流センターの石井氏をむかえ、国際結婚をテーマに在住外国人が抱えている問題、ふじみの国際交流センターが行っている外国人支援活動などについてお話しいただきます。また、自治体との協働事業についてもご紹介していただく予定です。

- 講師：石井 ナナエ氏
(特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター理事長)
- 日時：1月19日(水) 15:30-17:00
- 場所：(財)自治体国際化協会 大会議室
- 定員：40名



(財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

URL <http://www.plaza-clair.jp> E-mail international_cooperation@plaza-clair.jp